

July 16, 2019

【前日の為替概況】ドル強含み、ユーロ 1.1254ドル、ポンド 1.2510ドル、対円 107 円後半で小動き

15日のニューヨーク外国為替市場でユーロドルは反落。終値は1.1258ドルと前営業日NY終値(1.1270ドル)と比べて0.0012ドル程度のユーロ安水準だった。欧州時間に一時1.1284ドルまで買われる場面があったものの、1.13ドル台に乗せることが出来なかったこともあり徐々に上値が重くなった。7月米ニューヨーク連銀製造業景気指数が4.3と予想の2.0を上回ったことを受けてユーロ売り・ドル買いが出たほか、市場では「ECBが金融緩和方向に向かうとの観測が引き続きユーロの重し」との声が聞かれ、一時1.1254ドルと日通し安値を付けた。対欧州通貨中心にドル買いが進んだ影響も受けた。なお、主要通貨に対するドルの値動きを示すドルインデックスは一時96.97まで上昇している。

ドル円は横ばい。終値は107.91円と前営業日NY終値(107.91円)とほぼ同水準だった。薄商いの中で方向感を欠き、107円台後半での狭いレンジ取引に終始した。市場では「21日投開票の参院選を前に、本邦機関投資家など実需勢の動きは非常に緩慢。しばらくは方向感が出にくい状況だ」との声が聞かれた。

ユーロ円は続落。終値は121.49円と前日NY終値(121.62円)と比べて13銭程度のユーロ安水準。ユーロドルの下落につれた売りが出て一時121.42円と日通し安値を付けた。

ポンドは軟調。英国の次期首相を選ぶ与党・保守党の党首選が終盤を迎える中、英EU離脱を巡る先行き不透明感が改めて意識されたためポンド売りが優勢となった。ポンドドルは一時1.2510ドル、ユーロポンドは0.9001ポンド、ポンド円は134.96円までポンド安に振れた。

【本日の東京為替見通し】ドル円、米国6月小売売上高・鉱工業生産控えて動意薄か

本日の東京市場のドル円は、今夜発表される米中貿易戦争の影響を受けた米国6月の鉱工業生産、小売売上高への警戒感から動意に乏しい展開が予想される。

ドル円は、7月30-31日の米連邦公開市場委員会(FOMC)での予防的利下げ観測が高まっていること、イランと米国の軍事衝突の可能性が高まっていることなどで、軟調な展開となっている。

中国6月の小売売上高は前年比+9.8%、鉱工業生産は前年比+6.3%となり、5月及び市場予想を上回った。米6月小売売上高と鉱工業生産が5月及び市場予想を下回るネガティブサプライズとなった場合、中国の1-6月期対米貿易黒字(1404.8億ドル)が昨年同時期(1337.6億ドル)を上回っていたこともあり、トランプ米大統領による「為替操作」への言及に要警戒となる。さらに、パウエルFRB議長の「不確実性(uncertainty)」への警戒感が高まることで、7月30-31日のFOMCでの0.50%の予防的利下げ観測を高めることになる。逆に中国同様にポジティブサプライズとなった場合、0.25%の利下げ観測が後退する可能性が高まることになる。

パウエルFRB議長は議会証言で「適切な行動」としての予防的利下げの理由として、米中貿易戦争、ブレグジット(英国の欧州連合からの離脱)、そして債務上限問題を挙げていた。12日にムニューシン米財務長官は、ペロシ米下院議長に対して、議会が米国の借り入れ権限を引き上げなければ、政府の手元資金は9月初旬に底をつく可能性があるとして警告しており、米議会が7月26日に夏季休会となる前での債務上限引き上げへの警戒感も、ドル円の上値を抑える要因となるのかもしれない。

米中通商協議に関しては、ムニューシン米財務長官が今週予定されている米中貿易戦争の休戦後2回目となる電話協議が生産的ならば訪中する可能性がある、と述べており、訪中予定が示されなければ生産的な協議とならなかったことになる。

ドル円のテクニカル分析での攻防の分岐点は、1月3日のフラッシュ・クラッシュ時の安値104.87円から高値112.40円までの61.8%押しでの107.75円、一目均衡表・基準線の107.89円となる。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>
特になし

<海外>

- 07:45 ◎ 4-6月期ニュージーランド (NZ) 消費者物価指数 (CPI、予想：前期比 0.6% / 前年比 1.7%)
- 10:30 ◎ 7月豪準備銀行 (RBA) 理事会議事要旨
- 16:00 ◎ ビルロワ・フランス中銀総裁、講演
- 16:00 ◇ 4月トルコ失業率
- 17:30 ◎ 6月英雇用統計 (予想：失業保険申請件数推移 2万 2800件 / 失業率なし)
- 17:30 ◎ 3-5月英失業率 (ILO方式、予想：3.8%)
- 18:00 ◇ 5月ユーロ圏貿易収支 (季調済、予想：178億ユーロの黒字)
ユーロ圏貿易収支 (季調前)
- 18:00 ◎ 7月独 ZEW 景況感指数 (予想：▲22.3)
- 18:00 ◎ 7月ユーロ圏 ZEW 景況感指数
- 21:00 ◎ カーニー英中銀 (BOE) 総裁、講演
- 21:15 ◎ ポスティック米アトランタ連銀総裁、講演
- 21:15 ◎ ボウマン米連邦準備理事会 (FRB) 理事、講演
- 21:30 ◇ 5月対カナダ証券投資
- 21:30 ◇ 6月米輸入物価指数 (予想：前月比▲0.7%)
- 21:30 ☆ 6月米小売売上高 (予想：前月比 0.1% / 自動車を除く前月比 0.1%)
- 22:00 ◇ 6月ロシア鉱工業生産 (予想：前年比 2.0%)
- 22:15 ◎ 6月米鉱工業生産指数 (予想：前月比 0.1%)
◇ 設備稼働率 (予想：78.1%)
- 23:00 ◎ 7月全米ホームビルダー協会 (NAHB) 住宅市場指数 (予想：64)
- 23:00 ◇ 5月米企業在庫 (予想：前月比 0.4%)
- 17日 01:20 ◎ カプラン米ダラス連銀総裁、講演
- 17日 02:00 ☆ パウエル FRB 議長、講演
- 17日 04:30 ◎ エバンズ米シカゴ連銀総裁、講演
- 17日 05:00 ◎ 5月対米証券投資動向

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。
※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

【前日までの要人発言】

15 日 06:31 エルドアン・トルコ大統領

「我々は金利を著しく引き下げよう」

「S400 の搬送は 2020 年春までに完了する」

15 日 16:43 中国外務省

「台湾に対しての武器売却に関わっている米国企業には制裁を与える」

15 日 17:22 独経済省

「通商摩擦、ブレグジットの行方、地政学上の緊張など、相当なダウンサイドリスクがある」

「第 2 四半期は弱い経済トレンドだが、外部的な環境が落ち着けば経済の上昇はより高くなる」

「最近の指標はサービス部門で遅い成長を示している」

15 日 18:52 独経済省月報

「第 2 四半期の経済トレンド、総じて弱い」

「外部環境が落ち着けば、景気は再び上向きへ」

15 日 19:56 トランプ米大統領

「中国の第 2 四半期の GDP は 27 年以上に渡って最低だった」

「主に米国が中国に課した関税が、企業が中国から去って関税が課されていない国へと移っているのが影響している」

「何千もの企業が(中国から)去っている。だから中国は我々と交渉を締結したがっている」

16 日 03:09 ムニューシン米財務長官

「米財務省はリブラ(Facebook の仮想通貨)を非常に懸念している」

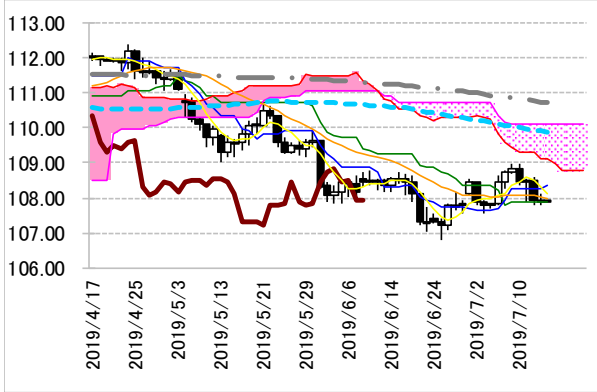
16 日 03:47 ジョンソン前英外相

「次の総選挙は 2022 年より前にならないだろう」

「英は関税同盟と単一市場の離脱が必要」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

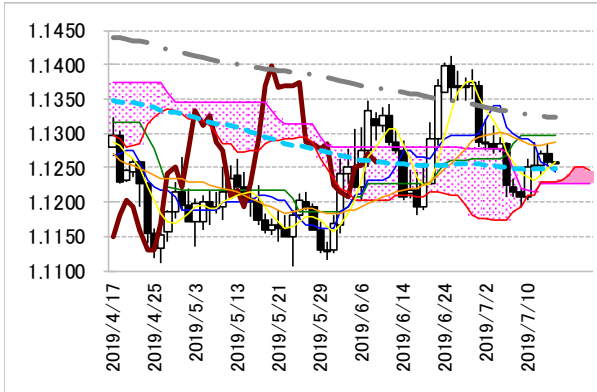


<ドル円＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

寄引同事線引け。一目・転換線は一目・基準線を上回っているものの、遅行スパンは実線を下回り、雲の下で推移しており、終値が一目・転換線を下回っていることで売りシグナルが優勢な展開となっている。しかし、相場の転換を示唆する寄引同事線により反発の可能性が示唆されており要警戒。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上回った場合は手仕舞い。

レジスタンス 2	109.11(日足一目均衡表・雲の下限)
レジスタンス 1	108.35(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	107.91
サポート 1	106.78(6/25 安値)

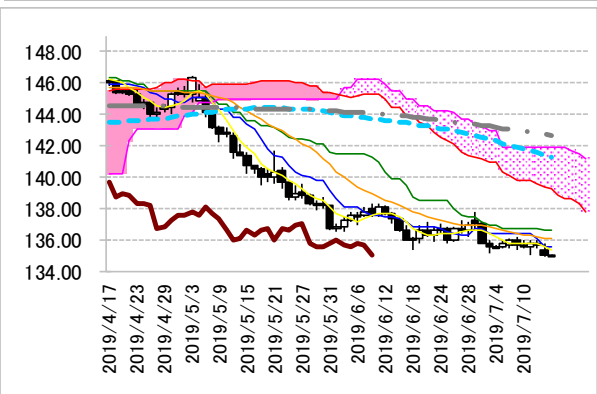


<ユーロドル＝基準線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目均衡表・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回っていることで、雲の上で推移しているものの、売りシグナルが優勢な展開となっている。高値圏での孕み線も反落の可能性を示唆している。

本日は、基準線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	1.1297(日足一目均衡表・基準線)
前日終値	1.1258
サポート 1	1.1230(日足一目均衡表・雲の上限)

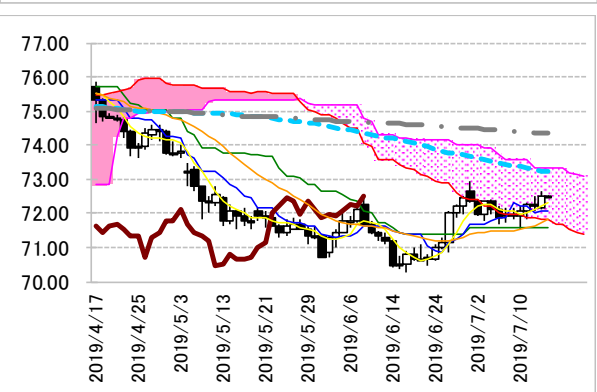


<ポンド円＝転換線を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目均衡表・転換線は一目・基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、雲を下回っていることで、三役逆転の強い売りシグナルが点灯している。

本日は、転換線を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	135.62(日足一目均衡表・転換線)
前日終値	135.07
サポート 1	133.67(7/1-3 の N 計算値)



<NZドル円＝基準線を支持に押し目買いスタンス>

陽線引け。一目・転換線は一目・基準線を上回り、遅行スパンは実線を上回り、雲の中で推移していることで、買いシグナルが優勢な展開となっている。

本日は、転換線の 72.09 円を念頭に置き、基準線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス 1	73.32(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	72.50
サポート 1	71.60(日足一目均衡表・基準線)

